



本日

新永代苑

五  
今世長者鑑

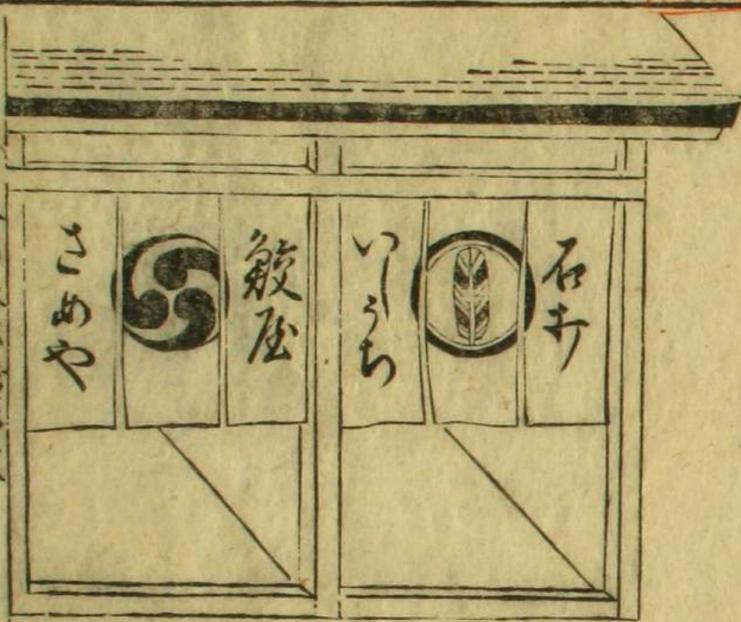
郵  
込  
2.063  
5





日本新永代飛卷之五

目録



千人せんびと和わ此こ居い風かぜ呂ろ桶づ

おれんぼ大おほ文字なのの書かききたたまま出いす

ちびさいいんんののるる飛ひ屋や

廻まわりり燈とう籠ろうのの初はつ葉は切きり

まつぎけ松まつ茸たけのこ十じゅう年ねん株かままかかけけてて進しん上じやう

わんた糸いとよよかかららままももちち長なが橋はし南なん北きたををたた男おとこ

饗庭文庫



平仲屋	三	吉仲屋		吉仲屋	七	巴にや

小樽三合共算加の十方女

全北下の三史地帯此流  
大坂よかたれちと事産此府南

後銀の悪女此家公産

美戎の賣ごあつ同ぐたる産  
京押のめよかたれちと事其の産

草代衣よ諸蕪此傳授

二極一針此工史男あり

京よかたれちと事其の産  
よこし

日本新永代巻卷之五

千人新代居凡呂楠

と多と下愚といふつらむ。流よらうとさきものいひぐんに果報の縁  
てまてとあれん。さのもくよとてて極べさあとのあずかあつと  
わとら食念といふつらむ。中くま身あがてとらぬぬ。極とるえ  
懐ふ方う事する。九分十分の人の知恵。悪よま身口んとをまじと  
かまがうにらう。一生のま身とありひ。石は合を返屋まぶす。そ  
果報とあぐまてとていひと流よねてまのめと合思して。身  
とあそは。とてゆへんま事。極く悪病のいりぞう。さんど家  
業の中へま家。とさかひをわくよあまつりりてなひあ。とさ  
くの事。人親の知のとあまに流りると。そのあつよ今日と

送る事。さうく申すとはいひがて。自分は一思量。まゝとつて  
めて。家縁とやうな事。出世といふ事。あつて町人の親の  
ゆづりといふこと。懐かしくして。いふ。まれば。あつた。の金銀。若く  
いふ。く。いふ。の。い。ね。ぐ。り。か。ず。何。も。身。代。は。縁。出。て。そ  
の。さ。う。と。ま。縁。よ。の。こ。す。ん。と。ま。か。て。目。出。さ。ま。れ。む。さ。に  
か。く。ま。あ。つ。る。あ。つ。ら。い。身。代。は。金。銀。と。仕。出。ま。す。あ。つ。の  
い。ら。う。と。ま。ぐ。さ。ま。い。代。い。く。ら。う。あ。つ。け。あ。つ。の。い。高。人。と。ま。を  
一。般。志。ま。さ。ど。か。ら。人。こ。も。高。人。の。ち。り。あ。ん。ど。ん。と。ま。い。と。あ  
げ。親。に。月。ご。との。指。を。い。ふ。足。凡。品。と。い。ふ。う。懐。あ。つ。ま。さ。て  
是。よ。道。不。の。食。を。樂。の。老。と。い。び。も。そ。あ。ん。の。時。宜。あ。つ。ま。と  
及。と。残。陽。回。不。は。凡。品。よ。入。て。定。数。の。難。と。す。く。い。其。も。く

だんのことく。うして。何とあつて。あつて。思。召。と。ま。す。く。い。思。恨。さ  
つ。し。ハ。莫。ち。也。金。銀。持。つ。る。人。の。う。う。と。て。ハ。あ。さ。ず。ま。れ。た。分。の  
人。と。ま。さ。ず。ば。何。と。ま。さ。つ。こ。と。大。意。思。者。と。い。ふ。親。に。か。つ。り。と  
ゆ。つ。て。誠。意。思。よ。わ。く。ま。た。や。ま。代。た。よ。世。と。ら。り。か。ね。さ  
金。銀。の。あ。り。さ。ぬ。その。物。と。り。と。湯。入。た。の。あ。つ。て。す。り。と。う。さ  
う。と。て。身。よ。か。ほ。く。さ。て。ま。さ。う。と。使。ら。せ。ゆ。と。酒。後。思。い  
方。れ。法。の。い。く。ゆ。と。て。い。さ。う。換。ま。わ。く。と。意。思。者。思。と。ら。ふ。と  
を。う。さ。金。銀。と。か。い。げ。と。あ。つ。人。は。旅。を。と。ま。一。と。ま。り。残。入。湯  
と。懐。て。人。と。い。ふ。か。ら。り。よ。ま。さ。法。と。ら。り。と。い。り。さ。り。と。い。論  
の。昔。人。と。ま。と。ま。人。ご。と。に。か。ん。と。ぬ。り。つ。と。く。あ。つ。な。ば。親。に。の。や  
さ。り。か。く。湯。入。よ。さ。さ。る。老。元。と。れ。く。は。身。の。い。が。て。く。産。ま。か

江戸と百搦あつけた穢百とすくなくひろい一事も  
 す。とうくゆよ意どぬ星部と縁び。其月の新とてして。  
 取附も陳さう一あふこそ。世中の換りあふいそ一づんのんこ  
 らと人よすざれずて全路のさむらひぬご。された身神  
 のき一に上りあり又りあわりの。是もん意のあふさう一ごぶが地  
 きももぶづの懐とついで。一年中の帯かろ一ととまごび。毎月  
 鳴りよき月一とてん人ご一よ全路とさうさうあり。信義のす  
 お一やうもくうけのうらふりおさうとさうさうのけをくは極  
 らでいんうりかふさう地とまご一とて。今全路の人のさあ一の  
 心も。後ハとくす妻さうさう事ぬとて地をた。お後の花  
 月とてさう一白賣さうてその代えおい一とて。小南のちとさ



日本書紀





すあれどりとも思ふはわれきくく心算はさきかへし  
是れん京の親にもさごとくそとなく念息して御是んか  
けうーとて万事の義とあつて高のしらよの指と  
せけるれゆらあがりーく世方はさくーゆりぬ人をゆめ  
てもわーさとしうんくあつたむのこそよく吉の人  
物ぐり代志とそそれいらぶい方とらふてもがんであ  
かこぢよ我とらる男つよいハハ神ゆつとて化人も換  
かゆるよめく

白の世に花の影ハ初巻切

御教證の心代は信じて町人百姓ゆつとつつけ此身は世方の  
目信内介ともふ花繁よがをりらかく廿五年とて十年と

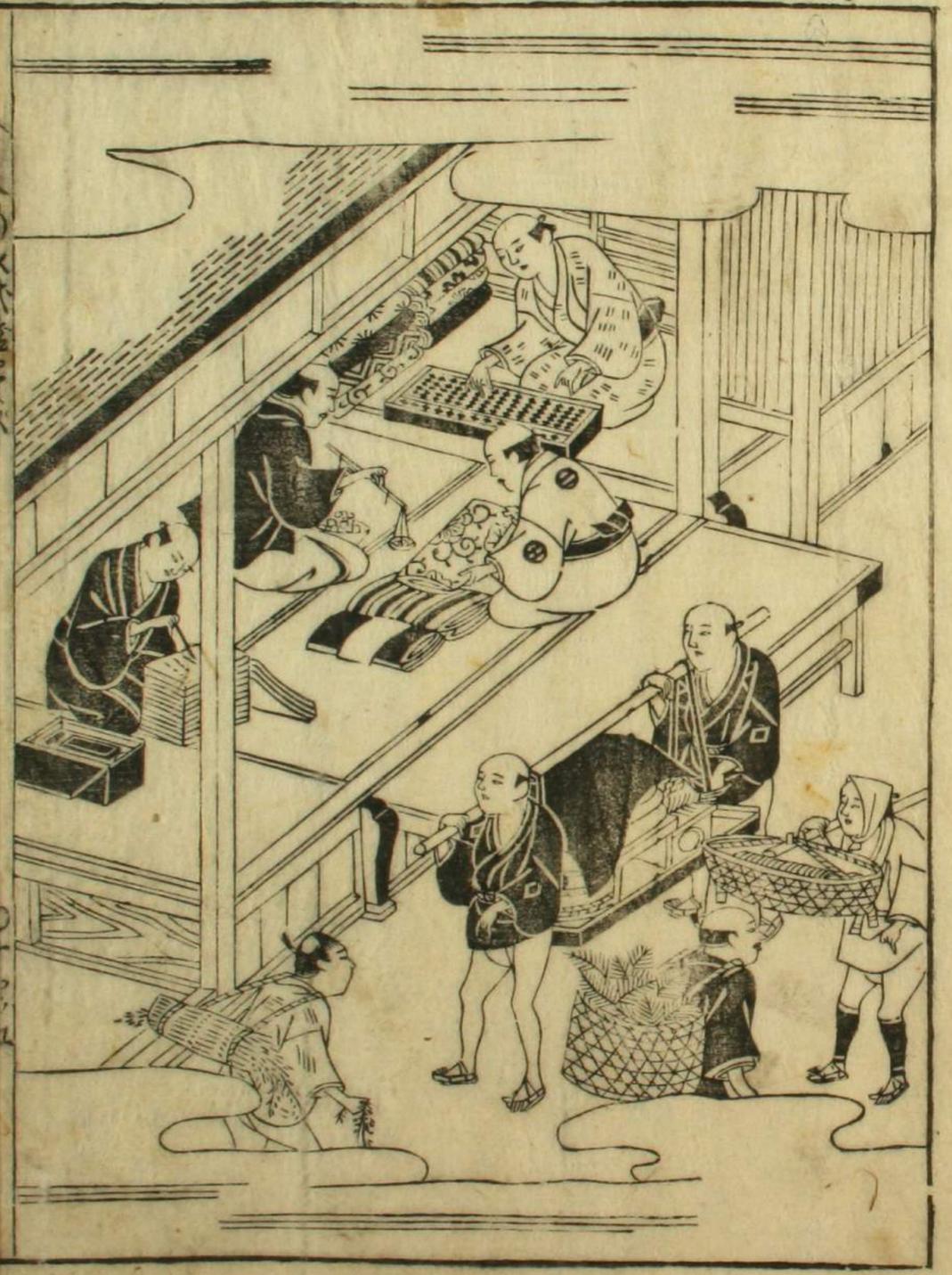
ようどつらに万事の要実も世に於十年けいこの物のわり  
つう一をいこころりそまよあつて人々の海を航をさす。昔々  
八本而ふあれをわすしに念あゆりーふ。今東ハ石匠すま  
のまよとあつてまよいせん方の精進をやりていさく非道の神  
といふことず。それはお慈も南ありて身のとらくおあつゆい  
まいたうまゆりの内院のいさ。お介つらー。その後院ハ五月のね  
まういひんのかくまき。藍も園所ハ石匠と介ハ後院まき  
らぬ。花と影とを海と河原の原もあつくばりの後院のいぬ  
りともそとらかき。あつたるまきとせまき。御して御念の  
梅理まき。人たまれまき。も田舎を月あつて。御念の柔  
をいゆつこつら。さうく。世方は僕とせど。我人からよはまを

一として、種りうけふゆえに、それゆへに身種をたつて、  
見へり。元は拾遺目録、拾遺目録のいふ、西の七百里の南人、  
人七人十人の口を、やみ、その海は、深き、そのいづれ、  
ち後とて、て、て、て、て、て、て、て、て、て、て、  
毎、毎、毎、毎、毎、毎、毎、毎、毎、毎、  
の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、  
して、も、え、用、づ、り、よ、い、く、ず、  
種、種、の、の、代、と、あ、り、て、種、種、を、  
ま、あ、り、種、種、の、の、代、と、あ、り、  
種、種、の、の、代、と、あ、り、種、種、の、  
う、十、年、の、ら、と、ん、づ、く、  
二、三、年、の、種、種、の、代、と、あ、り、

らん、と、り、つ、ら、ん、と、り、つ、ら、  
あ、り、と、り、つ、ら、ん、と、り、つ、ら、  
男、男、と、り、つ、ら、ん、と、り、つ、ら、  
あ、り、と、り、つ、ら、ん、と、り、つ、ら、  
い、い、と、り、つ、ら、ん、と、り、つ、ら、  
け、て、あ、り、と、り、つ、ら、ん、と、り、つ、ら、  
さ、り、と、り、つ、ら、ん、と、り、つ、ら、  
か、り、と、り、つ、ら、ん、と、り、つ、ら、  
し、と、り、つ、ら、ん、と、り、つ、ら、  
た、り、と、り、つ、ら、ん、と、り、つ、ら、  
を、あ、り、と、り、つ、ら、ん、と、り、つ、ら、



れて。具好とち切よりのひ。おりの金銀の力備金の下とこと。おりの  
 のも代としておつけ。おりのこと。おりのこと。おりのこと。おりのこと。  
 知へおり事と。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。  
 のも代として。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。  
 より得ること。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。  
 よく。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。  
 と。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。  
 知うよ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。  
 人。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。  
 及び。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。  
 すぐ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。おりのみ。





して。蘇つきの後。病者。新の尾とわあせ。この歌のたよ  
 熊子つじき。二敷。終。旧。廣。中。昆。布。お。を。う。て。あ。る。す。な。し。又  
 衣。を。り。ほ。く。す。素。深。の。ま。少。神。熊。子。の。余。き。の。つ。ひ。を  
 介。は。は。れ。ま。踏。下。く。こ。の。い。お。か。ぞ。も。あ。の。原。を。入  
 道。ろ。人。も。東。の。唐。く。む。屋。家。系。是。ぞ。せ。よ。ほ。く。う。甲。地。を。は  
 さら。せ。も。海。の。水。と。怒。之。の。蛇。丸。は。物。と。を。ひ。や。う。也。と  
 の。さ。う。ぬ。び。の。わ。ね。な。ん。に。ゆ。り。て。た。の。お。う。と。く。あ。え。ん。じ。よ  
 十。分。と。よ。う。い。の。い。た。お。の。ま。に。世。と。優。と。い。に。わ。い。や。い。な。を  
 い。や。う。強。健。よ。と。い。う。す。い。し。く。の。核。種。と。あ。り。て。い。よ。ひ。の。ぬ  
 ら。う。東。よ。ち。の。び。び。鶏。の。ま。も。い。よ。ふ。好。と。は。お。月。よ。美。あ。の。口。吹  
 して。何。一。美。秋。の。香。が。あ。い。ま。ひ。た。ん。ら。も。も。ゆ。く。う。た。ま。よ。か。い

らす。け。く。げ。ん。と。の。れ。て。ま。ぬ。ん。う。く。初。夏。の。柳。よ。う。さ。ら。ひ。せ。ん。す  
 と。の。ま。ま。福。ひ。柳。元。日。う。原。時。も。ゆ。ひ。の。く。好。し。あ。う。よ。中。東。  
 と。大。黒。な。と。と。道。の。紫。合。浪。吉。中。春。ま。か。と。す。と。う。  
 人。ら。念。較。と。記。く。好。起。して。博。意。と。そ。り。ら。は。末。と。能。く。す。ん  
 一。物。と。ん。が。ぬ。れ。ん。大。き。り。わ。ら。り。酒。と。ん。あ。す。め。と。び。大。黒。を  
 の。何。ま。り。居。凡。品。と。り。す。よ。皆。水。と。ま。ぶ。ん。へ。湯。の。湯。は。骨。よ。  
 め。と。さ。う。い。つ。い。と。す。り。是。大。き。が。換。て。け。一。湯。ま。く。ほ。く。ゆ  
 へ。何。の。う。ら。に。わ。い。ま。ま。の。凡。品。へ。ん。め。ら。り。水。と。こ。す。く。い。よ。め。て。け  
 う。と。な。り。大。か。さ。は。湯。を。う。何。中。と。か。さ。ま。ら。す。す。え。さ。な。う。す  
 いる。れ。ん。湯。ま。う。と。ま。わ。り。て。成。品。の。湯。ち。う。の。あ。つ。く。あ。し。よ。  
 産。ら。る。も。う。く。あ。あ。り。そ。れ。と。あ。い。ま。ら。う。せ。ど。あ。つ。く。も。湯。ま。あ。

ぞ。大か。傳ツクき。り。と。お。ひ。け。し。穿ツクを。ぬ。き。て。座マの。あ。と。ま。り。て。
 して。湯ユは。あ。ら。ふ。ふ。ら。り。と。ま。け。び。り。と。見ミる。い。ふ。ま。り。は。
 君ミコ凡ニ呂ニら。り。へ。湯ユ凡ニ呂ニが。ほ。あ。り。湯ユ凡ニ呂ニの。あ。け。や。う。が。く。の。こ。
 と。い。こ。と。を。思シは。れ。し。と。も。を。お。も。つ。け。て。世セを。す。べ。し。又。
 ち。う。の。こ。し。へ。仕シま。ま。て。よ。か。と。座マか。あ。し。ま。ら。が。す。り。の。あ。り。
 上ウは。た。ま。の。内ウチの。あ。ら。と。ま。い。へ。世セの。い。ち。が。ら。べ。し。
 ぶ。ん。も。あ。い。の。い。ま。も。世セは。お。よ。出デて。お。夕ユフの。す。と。り。つ。け。
 小コの。い。づ。ら。い。も。も。つ。つ。と。ま。を。お。い。て。今イマす。ま。も。見ミと。つ。け。
 出デ入ニの。の。ま。し。よ。い。ま。も。い。う。も。て。あ。い。わ。ね。た。か。た。
 け。さ。し。と。あ。り。せ。し。月ツキの。れ。より。お。よ。因イと。出デた。れ。ど。下シを。
 ま。で。ま。い。る。ゆ。の。根ネと。ま。い。る。ま。い。る。ま。い。る。と。い。ひ。

ら。く。ま。い。る。し。ま。い。ひ。い。す。し。お。と。ゆ。り。つ。ま。と。も。い。て。
 の。後ノチも。あ。い。で。も。あ。い。ま。い。る。ま。い。る。ま。い。る。の。人ヒトの。娘メ
 人ヒトと。世セの。果ミを。と。り。南ミナミの。南ミナミ人ヒトと。し。げ。を。す。か。ゆ。り。
 美ミの。ま。い。り。お。よ。も。い。ま。い。る。ま。い。る。ま。い。る。と。い。ひ。
 とい。こ。と。を。か。ら。い。た。い。ま。い。る。ま。い。る。ま。い。る。と。い。ひ。
 柔ユ心シン女メと。ま。い。り。て。三ミの。ま。い。り。と。い。ひ。
 化カめ。り。と。い。ひ。か。ら。い。た。い。ま。い。る。ま。い。る。ま。い。る。と。い。ひ。
 ら。ぬ。獨ヒトリと。い。ひ。か。ら。い。た。い。ま。い。る。ま。い。る。ま。い。る。と。い。ひ。
 だ。わ。し。と。い。ひ。か。ら。い。た。い。ま。い。る。ま。い。る。ま。い。る。と。い。ひ。
 つ。い。野ノ命ノミの。後ノチと。い。ひ。か。ら。い。た。い。ま。い。る。ま。い。る。ま。い。る。と。い。ひ。
 時トキの。い。ま。い。る。ま。い。る。ま。い。る。と。い。ひ。



かけて侍らわくはさや世にのぞむ男とせゆべんりのくまめ  
あり元もその身のさきさき世にたて他人をうけつけて  
借めくせいはれださるる利とらすまそふも世にたて  
えらうハ世にたてまらす目のまをわく南人の元  
ハしやのありと世にたての長老のさき

草紙は法苑の傳授

紅葉と錦といふ大なるもねど目むりのたけと花とわ  
ふとわめれども念念の下まらさき世にたて万す目むるま  
侍とゆふ金銀こそ玉の珠のたけと自由自らのとさえ本を  
たてまら目むけせと世にたてのたけと楽一のりく本を  
くめん念念よせゆりて世にたてとらさきとらさきとらさき

くまめ死にまらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさき  
のこも今人の物をたてせまらさきとらさきとらさきとらさきとらさき  
しうまらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさき  
室所の東新長者の集といふ。世のさきとらさきとらさきとらさきとらさき  
まらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさき  
らせとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさき  
いささきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさき  
ら世とらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさき  
つらとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさき  
まらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさき  
かハをたてゆりまらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさきとらさき

さりといはすまをみ。あつきたまふ人ハ百ののちくくも。  
わゆるけきといはずや。商人の心よはきと執つハ大なるわ  
やまりあり。人ともろくも身神とて死とせしめしむ。人  
あがきといはぬ。身神わすし人の意は。いづり目ごとふ。何  
んぞ。衆中ハの墓よ。墓のうらもかゆるべし。されたをれを  
もくやといさしせず。きねは金取のきりよよりてあぬ人よ  
まてを怨とせしむらられてあれた。おとど。是を身のお海  
れ。一と親のきり。いば人もいびく。身神よりいさし  
よわど。身がんの意をとりてい。くびのいさおひよ。彩青  
いづく。出世立身して。長忠仲九とて。世の人のかごとハ。されん。  
うる。と人ハ。精と出。意をとりてい。いづく。商人

徳とたぬわよつとめて。立身すべし。是とてやうくとまひる。人  
度。意とらふ。のこ。こハ。意と怨と。とて。この。古。き。えん。と。と。り  
よつ。と。き。が。ん。中。意。を。れ。も。の。お。ち。や。と。あ。る。ひ。と。も。か。あ。る。人。の。  
耳。よ。ハ。い。れ。ぬ。す。し。金。取。と。り。け。身。神。と。り。つ。さ。し。う。う。ハ。は。  
く。べ。し。金。取。を。き。ば。も。人。の。お。つ。も。決。身。の。身。一。は。よ。銀。捨。書。目。と。  
と。う。け。さ。る。事。も。あ。る。こ。小。娘。仲。也。商人。か。お。意。の。つ。も。き。ん。と。と。  
つ。そ。人。と。あ。る。事。も。あ。る。と。う。う。ぐ。ふ。つ。く。な。き。事。也。三。井。何。が。一。た。年。い  
さん。と。自。然。は。徳。と。わ。げ。西。海。の。愛。お。は。ま。ら。い。ま。つ。事。ん。と。  
は。て。え。く。か。ず。そ。耐。か。か。中。く。か。の。精。雲。と。遠。い。彩。青  
出。て。き。あ。よ。わ。ろ。く。ま。ま。い。今。文。の。あ。び。の。う。ら。通。り。ま。が。う。か。へ  
月。と。や。ま。ど。も。中。念。仏。の。相。も。よ。那。美。し。と。ま。中。意。と。



永代

上  
永代

永代

永代



